

# 土佐町 座談会

場所：あじさいホール(高知県土佐郡土佐町土居206)

時間：19時～20時半 参加費：無料

# 日常の 一歩ソトの 出会い

講演スケジュール



1月11日(水)

岡勇樹

(NPO 法人 Ubdobe 代表)



1月19日(木)

藤岡慎二

(教育政策アドバイザー)



2月8日(水)

平地大樹

(株式会社プラスクラス 代表取締役)



3月23日(木)

森田真生

(独立研究者)



3月11日(土)

小澤いぶき

(児童精神科医・PIECES 代表)



2月21日(火)

菅野敬一

(株式会社溪水 代表取締役)

様々な分野で活躍する一流の人々。  
彼らの人生には、土佐町で一流の人財が育つための  
ヒントが散りばめられています。  
そんな話に耳をかたむけてみませんか？  
講演会なんて、カタイものじゃありません。  
ひざをつきあわせて、同じ目線で語り合う。  
土佐町座談会はじまります。  
いつもとはちょっと違う出会いを楽しみに来てください。

お問い合わせ

土佐町役場総務企画課 瀬戸昌宣 0887-82-0480 seto-masanori@town.tosa.kochi.jp

主催：土佐町 後援：土佐町教育委員会



1月11日(水)  
登壇

岡 勇樹 a.k.a. ゆーく (おか・ゆうき)  
NPO 法人 Ubdobe 代表

- 1981年(00歳) 東京都・国立市に生まれる。
- 1984年(03歳) アメリカ合衆国・カリフォルニア州 サンフランシスコへ移住。
- 1992年(11歳) 日本に帰国後DJ・ドラムを始め、その後ディジュリドゥという民族楽器の演奏を始める。
- 2002年(21歳) ストリートパフォーマンス集団 ウッドベ共和国を創設するが、同年に母親を癌で亡くす。
- 2005年(24歳) リラクゼーション系企業に勤め、現場スタッフ・エリアマネージャー・店舗開発営業を担当。
- 2007年(26歳) 企業を退社し、音楽療法の専門学校に通いながら高齢者介護や障がい児者移動支援の仕事始める。
- 2008年(27歳) 医療福祉系の音楽イベントを展開する任意団体 Ubdobe を立ち上げる。
- 2010年(29歳) NPO 法人 Ubdobe を設立し、代表理事に就任。
- 2011年(30歳) リラクゼーションセラピスト団体 UnplugTokyo を設立。後に代表権を譲渡。
- 2012年(31歳) 音楽レーベル ONE ON ONE を設立。後に合同会社 ONE ON ONE に登記変更。
- 2013年(32歳) NHK・ハートネットTV に出演し各地から反響があり、日本全国に Ubdobe の支部を設立し始める。
- 2014年(33歳) 厚生労働省 介護人材確保地域戦略会議 有識者に選出。
- 2015年(34歳) 一般社団法人国際福祉機構を設立し、代表理事に就任。
- 2016年(35歳) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部 ユニバーサルデザイン 2020 関係省庁等連絡会議 構成員に選出。



1月19日(木)  
登壇

藤岡 慎二  
(ふじおか・しんじ)  
教育政策アドバイザー・  
総務省地域力創造アドバイザー

慶應義塾大学院 SFC 政策・メディア研究科修了。20年間の現場での指導経験を持ち、小・中・高・大・社会人まで指導。大学院での研究がきっかけでキャリア教育や推薦・AO入試対策、社会人基礎力の指導や教材・プログラム開発を大手大学受験、予備校や高校・大学で通信教育大手のベネッセコーポレーションでも教材開発アドバイザーを務めた。予備校の再生事業にも参画している。現在は行政・自治体と協働、教育を通じた地域活性化に取り組んでいる。参画した島根県立隠岐島前高校魅力化プロジェクトは、離島中山間・僻地の公立高校のモデルとして全国でも有名。テレビや雑誌など多くのメディアに取り上げられている。

近年は教育に限らず、定住促進や若者の自立支援事業も実施している。現在、北海道、福島県、新潟県、長野県、新潟県、大阪府、島根県、広島県、岡山県、沖縄県の高校で魅力化プロジェクトを実践中。

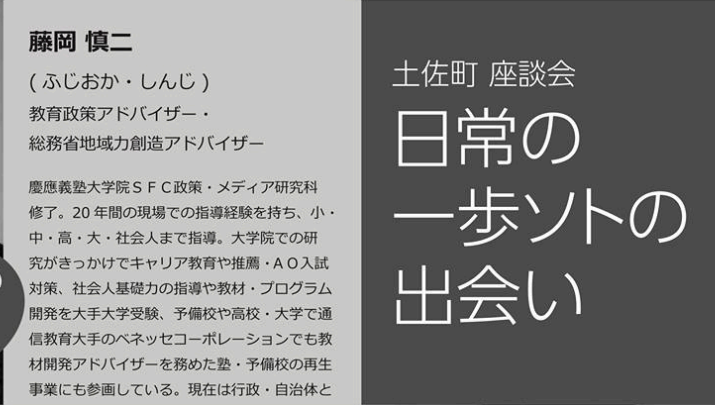
総務省地域力創造アドバイザーに選出されノーベル平和賞を受賞したムハマド=ユヌス博士が認めるソーシャルビジネス企業に認定されている。2017年から北陸大学経済経営学部教授に就任予定。



3月11日(土)  
登壇

小澤いぶき  
(おざわ・いぶき)  
児童精神科医・PIECES 代表

医学部卒業後、初期臨床研修医を経て、精神科医、児童精神科医として臨床に携わる。児童精神科分野では、特にトラウマ臨床、虐待臨床、発達障害臨床に携わり、子どもを取り巻く環境や社会構造に、専門家だけでなく、誰もが一人の市民として関わり、変えていく必要性を感じる。NPO 法人 PIECES において、どんな子どもたちにも尊厳のある豊かな社会を目指し、子どもたちの危機が予防され、可能性が活かされる多様性のある生態系づくりを行っている。生態系の基盤となる、子どもの育ちを支える柔軟なネットワークを創っていける人材の育成を行っている。



土佐町 座談会  
日常の  
一歩ソトの  
出会い



2月21日(火)  
登壇

菅野 敬一 (すがの・けいいち)  
株式会社溪水 代表取締役

1951年東京都生まれ。早稲田実業高等学校を卒業後、働きながら夜間大学に通い、祖父が創業した精密板金加工工場「菅野製作所」に入社。父の後を継ぎ3代目社長に就任したものの2年後にはバブル崩壊に伴い倒産。その後、取引先の協力などもあって再建。「死ぬまでに自分の欲しいものを作ろう」との信念を貫き、「エアロコンセプト」というブランドを開発。菅野の作る航空機部品の技術に応用した靴や各種ケースは、モナコ国王、ウェストミンスター公、ジョージクルーニー、ロバートデニロなどハリウッドスター、世界の著名人、セレブ層から高い評価を得ている。

<http://www.aeroconcept.co.jp/>



2月8日(水)  
登壇

平地 大樹  
(ひらち・たいじゅ)  
株式会社プラスクラス代表取締役

Web コンサルティング会社プラスクラス代表。プロバスケット引退後、人材業界を経験し、Web 業界へ。営業活動一切ナシの Web コンサル事業をプラスクラスとして収益化し、現在はプラスクラス・スポーツ・インキュベーション代表として、スポーツ界に Web / IT を取り入れることを推進しています。

コンサドーレ札幌の Web マーケティングアドバイザーや、千葉ジェッツの Web プロモーションの全体統括などを担当し、いずれも集客の大幅増に貢献。現在は広島ドラゴンフライズのマーケティング統括やアパレルブランドのクリエイティブディレクションなども担当。

2020 オリンピック後までには、転職斡旋という従来のカタチではない、プロアスリートのセカンドキャリア支援事業をスタートしたいと活動しています。

アドテック東京 2016 スピーカー。



3月23日(木)  
登壇

森田 真生 (もりた・まさお)  
独立研究者

1985年、東京都生まれ。東京大学理学部数学科を卒業後、独立。現在は京都に拠点を構え、在野で執筆・研究活動続ける傍ら、全国各地で「数学の演奏会」や「大人のための数学講座」など、数学に関するライブ活動を行っている。デビュー作『数学する身体』(新潮社)で第15回小林秀雄賞を受賞。編著に『数学する人生』(新潮社)がある。